

## 授業実践3 中学校第2学年 理科

# 「本当か嘘か見極めよう！」

足寄町立足寄中学校 第2学年

授業者 井脇 功陽

### 1 本時の展開

#### (1) 本時のねらい（目指す子どもの姿）

- 既習事項を基に、実験動画の真偽を考え、正しく見極めることができる。（5/5時間目）

#### (2) 研究との関わり

- 普段目にする情報には、信ぴょう性の度合いが存在することを知る。
- 収集した情報が正しいかどうかを判断し、扱っていく必要があることを知る。

#### (3) 学習過程

指導過程	○ 主な発問や教師の指示 ・予想される子どもの反応	指導上の留意点（□）評価（☆） 研究との関わり
導入	<b>前時までの学習について振り返る</b> ○ 酸化、還元、質量保存の法則とは何か、どのような実験を行ったかについて確認しましょう。	□実験毎に、質量がどのようになっていたかについて確認する。
展開	<b>課題 学んだことを生かし、実験動画が本物か偽物か見極めよう。</b>  <b>実験動画の真偽について考える</b> ○ 鉄と硫黄が結び付く変化の実験動画を視聴して、動画が本物か偽物か考えましょう。 ・実験の前後で質量は変わらないのではないか ○ ものが燃える変化の実験動画を視聴して、動画が本物か偽物か考えましょう。 ・質量は減るのでないか ・増えているのがおかしい ・酸化しているので、質量が増えるのは良いのではないか  <b>実験動画の真偽について確かめる</b> ○ 質量保存の法則を根拠に、実験動画の信ぴょう性を判断し、動画が正しいかどうか確かめましょう。 ・実験の前後で質量が変わってないので、この実験動画は正しいだろう ・実験の途中に質量が減ってからまた増えているのでこの実験動画は正しくないだろう	□新たに調べたいことがあれば、調べる。 □活動の流れは、個人思考→グループ交流→全体確認とする。 ☆既習事項を基に、必要な情報を精査しながら、実験動画の真偽について考え、根拠をもって説明することができる。 【思考・判断・表現】（ワークシートの記述）  <b>情報技術の仕組みの理解</b> ・情報には信ぴょう性の度合いが存在し、真偽を確かめてから扱う必要があることを知る。
終末	<b>実験動画の真偽の見極め方について振り返る</b> ○ 実験動画の真偽について、「既習事項を基に判断することができたか」を振り返り、「今日の学びの格言」を記入する。	□スライド資料を提示して、本時の学習を振り返る。